

2021 年度事業報告

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

(公財)経団連国際教育交流財団

1. 公益事業

(1) 日本人大学院生奨学事業（日本人大学院生奨学金）

学業、人物ともに優秀であって広く社会に貢献する意志を持ち、将来、アカデミアの世界で研究者として活躍することが期待される日本人大学院生を対象に、海外の大学院に留学するための奨学金を支給した。なお、2021 年度には東京倶楽部奨学生がいなかったため、(一社)東京倶楽部からの助成は受けなかった。

① 2022 年度奨学生の募集・選考

8 大学から推薦のあった 19 名の応募者に対して選考（書類選考：10 月 21 日、面接選考：11 月 22 日）を行い、奨学生 2 名を選抜した。

② 奨学金の支給

2021 年度奨学生 1 名に対して奨学金を支給した。

(2) 産業リーダー人材育成奨学事業（産業リーダー人材育成奨学金）

大学院卒業後、日本企業において活躍する意志を持つ、わが国の大学の最終学年、もしくは大学院博士前期課程 1、2 年生を対象に、海外の大学院に留学するための奨学金を支給した。

① 2022 年度奨学生の募集・選考

9 大学から推薦のあった 12 名の応募者に対して選考（書類選考：10 月 21 日、面接選考：11 月 22 日）を行い、奨学生 1 名を選抜した。

② 奨学金の支給

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により留学を延期した 2020 年度奨学生 1 名と、2021 年度奨学生 1 名に対して、奨学金を支給した。

(3) 経団連グローバル人材育成スカラーシップ事業

将来、グローバルなビジネス領域で活躍する意志を持つ日本人大学生・大学院生で、海外の大学に留学しようとする者を対象に、経団連主要会員企業からの寄附金も得て奨学金を支給した。

① 奨学金の支給

2020 年度奨学生 20 名のうち、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で留学開始が 2021 年度になった 12 名、ならびに 2021 年度奨学生 20 名の

うち留学を開始した17名に対して、奨学金を支給した。残る2021年度奨学生3名に対しては、2022年度、留学確定後に奨学金を支給することとした。

② 奨学生への指導・助言

2021年度奨学生を対象に、4月20日、「奨学金の支給方針に関する説明会」をオンライン開催し、奨学金給与規程を弾力的に適用する方針である旨説明した。また7月30日には、留学生活や将来の進路に向けての抱負、当面の課題などを奨学生同士で共有するための「課題共有会」をオンライン開催したほか、ソーシャル・ネットワーク等を利用して留学準備の支援や関連情報の提供・助言等を行った。

③ 経団連グローバル人材育成スカラーシップ事業募金の実施

本事業の実施に充てる費用の一部について、経団連主要会員企業を対象に、経団連と共同で寄附金の募集を行った。

④ 2022年度奨学生の募集・選考

46大学から応募のあった248名の学生について、9～10月に書類選考を実施して62名を書類選考通過としたうえで、12月1日に面接選考会を実施し、20名を合格とした。

⑤ その他

本奨学金を受給して卒業した学生、その他海外留学を経験した学生を対象とした合同就職説明会「経団連グローバルキャリア・ミーティング」の開催に協力する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止した。

2. 会 議

事業計画・同収支予算、事業報告・同収支決算等、当財団の重要事項を審議するため、理事会を5回（うち「決議の省略」による開催2回）、評議員会を1回、それぞれ開催した。

(1) 理事会の開催

① みなし決議に関する第25回理事会（5月24日）

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）事業報告および財務諸表等について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」）に基づく手続きによる決議の省略（みなし決議）にて、可決した。

② 第 26 回理事会（6 月 11 日）

理事の職務執行状況に関する報告を行った。

③ 第 27 回理事会（6 月 11 日）

理事長および常務理事を選出した。

④ みなし決議に関する第 28 回理事会（9 月 10 日）

森山工 東京大学教授への選考委員委嘱の件について、法人法に基づく手続きによる決議の省略（みなし決議）にて、可決した。

⑤ 第 29 回理事会（3 月 14 日）

2022 年度（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）事業計画および収支予算案、2022 年度資金調達および設備投資の見込み、第 11 回定時評議員会の招集、選考委員会運営規則の改定、奨学金給与規程の適用に関して審議し、可決した。併せて、理事の職務執行状況に関する報告を行った。

(2) 第 10 回定時評議員会の開催（6 月 11 日）

2020 年度事業報告および附属明細書等、2020 年度財務諸表等、理事の選任、定款変更に関して審議し、可決した。

3. その他

当財団のホームページで、日本人大学院生奨学生ならびに産業リーダー人材育成奨学金奨学生の留学報告を紹介した。

(<https://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/ishizaka/report.html>)

以 上